

ネパール政治ニュース (16年7月) ヘッドライン

政 治	
内政	<p>(1) 4日、マオイスト・センターは、オリ政権に対して不満を示し、マオイスト・センター率いる政権が必要であると圧力をかけた。</p> <p>(2) 4日、政府が1年半以内に3つの選挙を行うと述べてから1ヶ月経つが、政府の準備に進展は見られない。</p> <p>(3) 5日、マオイスト・センターとUMLは、議会で審議されている政府予算案を可決させ、9項目合意と紳士協定の実施を行うことで合意をしたと報じられた。</p> <p>(4) 8日、オリ首相は、NCに対して、政権に参加をするように呼びかけた。</p> <p>(5) 8日、議会の聴聞委員会は、満場一致でアヨディ・プラサド・ヤダブを選挙委員会の委員長に任命することに承認した。</p> <p>(6) 8日、マオイスト・センターは、第一回党大会を2017年1月7～12で開催することを決定した。</p> <p>(7) 10日、バブラム・バッタライ元首相は、選挙委員会にナヤ・シャクティの政党登録をした。ナヤ・シャクティは先月、結党大会が開かれたばかりである。</p> <p>(8) 11日、マオイスト・センターは、オリ首相に9項目合意の実施のために猶予の時間を与えることを決定した。</p> <p>(9) 12日、マオイスト・センターは、オリ政権からの離脱を表明した。</p> <p>(10) 13日、NCは、新政権樹立のため、マオイスト・センターを支持すること及びオリ首相に対する不信任決議案を提出することを決定した。</p> <p>(11) 13日、オリ政権から離脱したマオイスト・センターは、オリ首相が早期に退陣しなければ不信任決議案を提出する旨述べた。</p> <p>(12) 13日、マオイスト・センターのダハル議長は、NCと連立を組んで首相になる算段をしていると報じられた。</p> <p>(13) 13日、復興庁は、住宅再建補助金の受給資格者が533,155人になった旨述べた。カトマンズ郡、ラリトプル郡、バクタプル郡の受給者が新たに認定された。</p> <p>(14) 14日、マオイスト・センターとNCは、オリ首相に対する不信任決議案を議会に提出した。</p> <p>(15) 14日、NCは次期政権において14の大臣ポスト、マオイスト・センターは8つの大臣ポストを確保する動きを見せている。</p> <p>(16) 14日、統一民主マデシ戦線(UDMF)は、オリ首相の不信任決議案には賛成するが新政権には参加しないと述べた。</p> <p>(17) 15日、オリ首相は辞任しないと発言。</p>

	<p>(18) 15日、マオイスト・センターとNCは、大臣ポストの配分について話し合った。</p> <p>(19) 17日、議会は、オリ首相の不信任決議案を3日間審議することを決定した。</p> <p>(20) 18日、与党は、不信任決議案の審議が行われないように議会を妨害した。与党は予算関連法の審議を先に行うべきと主張。</p> <p>(21) 20日、NCはオリ首相に対し、直ちに辞任するように要求した。</p> <p>(22) 20日、UMLは、不信任決議案の前に予算関連法を審議するべきとして、不信任決議案の審議が行われないように、議会を妨害することを再度決定した。</p> <p>(23) 21日、立法議会議長のオンサリ・ガルティ・マガルはCPN-UML、マオイスト・センター、NCに対して議会運営に関して合意するように求めた。</p> <p>(24) 22日、NC、マオイスト・センター、マデシ政党は、不信任決議案を取り下げてオリ首相の辞任を促すべしとのラム・チャンドラ・ポウデルNC議員の提案を拒否し、あくまでも不信任決議案を成立させることで合意した。</p> <p>(25) 24日、オリ首相が辞任を発表した。</p> <p>(26) 24日、オリ首相の辞任を受け、バンダリ大統領は、政党間の合意により7日以内に新政権を発足させるように、議会に指示した。</p> <p>(27) 26日、14政党が新政権に参加する見込みであると報じられた。</p> <p>(28) 26日、UDMFと連邦制連合（FA）は、新政権参加の条件を協議した。</p> <p>(29) 27日、UDMFは、NCとマオイスト・センターが自分たちの要求を受け入れるのであれば新政権を支持すると述べた。</p> <p>(30) 28日、NCとマオイスト・センターは、2017年2月から3月にかけて地方選挙を行うことで合意した。</p>
<p>外交</p>	<p>(1) 5日、カトマンズにて第一回「賢人グループ」の会合が開催され、1950年に締結されたネパール・インド平和友好条約を含め、二国間協定の見直しについて議論した。</p> <p>(2) 7日、ネパール政府は、ムスタン郡のコララ国境ポイントにネパール陸軍のバラックを建設する準備に取りかかった。</p> <p>(3) 12日、インド政府の役人がネパール側に対して、2014年にモディ首相がネパールへ贈呈したヘリコプターについて、12.7億ルピーの支払いを要求した。</p>